



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 【本校の概要】

本校は、北十勝にある2クラスの小さな学校です。上士幌町は熱気球で有名な町であり、本校は全国でも珍しい熱気球部があります。恵まれた自然環境の中、多くの活動を通して地域を大切にしようとする心を育てています。

#### 【27年度の主な活動内容】

##### 【地域社会の活性化】

#### ①北海道バルーンフェスティバルへ参加、協力（8月7日～9日実施）

北海道バルーンフェスティバルは8月に行われる上士幌を代表するイベントです。熱気球部員達は競技への参加を通して、熱気球の魅力や地域の活性化について学びます。また、大会運営のボランティアとして他の部活動の部員達も協力しています。



#### ②町民仮装盆踊り大会への参加（8月18日実施）

生徒と保護者、先生達とで毎年、町のイベント町民仮装盆踊り大会に参加しています。生徒会や部活の生徒を中心に有志を募り、衣装や踊りも生徒達で考えます。今年のテーマは妖怪ウォッチでした。



#### ③「異世代交流会」の取り組み（9月27日実施）

上士幌町老人クラブと家庭部・熱気球部・吹奏楽部との交流事業です。老人クラブの方々に高校に来ていただき、学校の紹介や熱気球の体験搭乗、小物づくりや演奏会などを通して異世代間の交流を行います。このような取り組みを通してコミュニケーション能力などを身につけます。

##### 【平和教育】

#### ①教科横断型「平和学習」の実施（2学年）

本校の見学旅行のテーマは「平和と文化を学ぶ」です。平和学習は教科横断型の事前学習を行っています。国語科では広島や長崎を題材にした小説読解、地歴公民科では戦争が起こった背景や実際の様子などを学び、理科では原爆の仕組み、音楽では平和を願った歌を練習します。こういった学習を行った上で現地を訪れることで、生徒達は戦争の悲惨さ、そして二度と戦争を起こしてはならないことを強く実感します。



## 【環境教育】

### ①空き缶クリーン作戦への参加(5月23日実施)

環境教育の一環として、町のボランティア事業である取り組みに、家庭部と熱気球部が中心となって参加しています。生徒達は主に学校周辺に落ちている弁当の空き箱やペットボトル、空き缶などを拾い、ゴミの分別作業も行いました。ポイ捨ての多さについて考えさせられる貴重な機会となっています。

## 【人権教育】

### ①LHR「生と性の講話」(7月16日実施)

人権教育の一環として行っています。今年度は「対等な関係を築くために」というテーマで、デートDVを題材にした映像を見せ、その後グループ討議などを通して、真剣に考えてもらいました。



### ②総合的な学習の時間における「カタリバ」の実施

本校では、悩みを抱えながらも前向きに学校生活を送っている大学生達と膝を交えて語り合う「カタリバ」を実施しています。この取り組みがきっかけで、将来自分が何をすべきかについて真剣に考えるようになった生徒も多くいます。



## 【学校間交流】

### ①留辺蘂高校とのユネスコスクール間交流の実施

本校の生徒会執行部が、ユネスコスクールとして先進的な取り組みを行っている留辺蘂高校を訪問しました。留辺蘂高校の生徒会にESDとは何かということや具体的なESDの活動内容について教えてもらうなど、とても有意義な交流ができました。今回の交流をきっかけに、次年度以降はユネスコスクール間でのより発展的な取り組みをしていきたいと考えています。

## 【今後に向けて】

次年度は学校設定科目「上土幌学」を3年生のカリキュラムの中に設け、ふるさと上土幌について様々な観点から知り、持続可能な社会づくりに貢献できるような生徒の育成を目指します。また、小中学校でも行っているふるさと教育とも連携を図り、上土幌町の幼保小中高すべての学校がESDを基軸とした特色ある教育活動を展開できるよう、取り組んでいきたいと考えています。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）